

職場見学会実施報告書（第3回）

千葉県児童家庭課人材育成確保対策室

1. 参加対象

千葉県の児童相談所、県立児童福祉施設（児童相談所・富浦学園）で働くことを検討されている方

2. 実施概要

【事前オリエンテーション】

- (1) 開催日時 令和8年2月12日（木）13:30～13:45
- (2) 実施方法 オンライン（Zoom）
- (3) 実施内容 顔合わせ、諸注意説明、誓約書提出のお願い

【職場見学会】

- (1) 開催日時 令和8年2月19日（木） 9:15～17:30
- (2) 実施方法 貸し切りバスにて施設2か所を訪問
- (3) 参加者 12名（体調不良等によるキャンセル4名）
- (4) 実施内容 東上総児童相談所、富浦学園を訪問し、施設内の見学、インタビュー、座談会等
- (5) 実施スケジュール

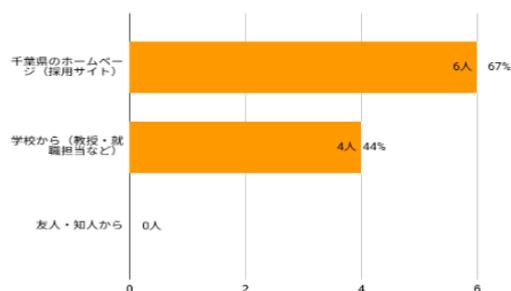
9:15	JR 蘇我駅改札付近	集合
9:25～10:15	移動	車内レクリエーション
10:15～11:45	「東上総児童相談所」訪問	
11:45～11:55	移動	
11:55～13:00	茂原ショッピングプラザアスモ	お昼休憩・自由行動
13:00～14:30	移動	
14:30～16:15	「富浦学園」訪問	
16:15～17:30	移動	
17:30	JR 蘇我駅前	解散



【アンケート結果】

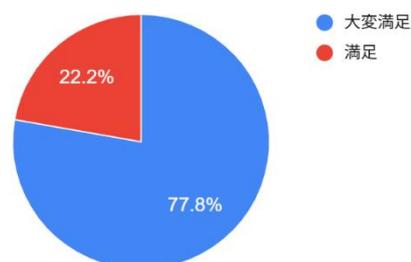
Q1. 本日の職場見学バスツアーを何で知りましたか？(複数回答可)

千葉県のホームページ (千葉県児童福祉専門職員 採用サイト)	6名
学校から (教授等・就職担当など)	4名
友人・知人から	0名



Q2. 本日の職場見学バスツアーはいかがでしたか？

大変満足	7名
満足	2名
ふつう	0名
やや不満	0名
大変不満	0名



Q3. バスツアー全般について (一部抜粋)

【児童相談所について】

- 一時保護所の様子や勤務形態、普段の業務内容について知ることができ、非常に有益だった
- 児童相談所の業務の魅力ややりがいを感じ取ることができ、研修制度が豊富である点からも環境の良さを実感した
- 児童福祉司や児童心理司など多様な職種が連携し、子ども一人ひとりの背景を丁寧に理解しようとしている姿が印象的だった
- 箱庭療法や遊戯療法が実際にどのように機能しているのかを見学でき、実践者から直接やりがいや働き方を聞くことで将来像が明確になった
- 職員の方が柔らかい雰囲気、チームで協力して取り組んでいる様子が伝わり、仕事への理解が深まった。

【児童自立支援施設 (富浦学園) について】

- 施設というよりも「家庭に近い温かい雰囲気」があり、子どもたちが楽しそうに遊ぶ生活の場であることを実感した
- こどもたちの生活感をしっかりと感じることができ、子どものための適切な環境が整えられていることを実感した
- 職員の方が本当に子どものことが大好きで、一生懸命に向き合っている熱意がとても伝わってきた
- これまで大学の実習で訪問したどの施設よりも、職員さんが温かいと感じた
- 自然に囲まれて非常に心が安らぐ立地であり、家庭の温かさを意識した支援が行われていることに感銘を受けた
- 食事を生活棟で作るなど、様々な事情のある子どもたちが「温かい生活」を普通だと感じられるような配慮がなされていた
- 施設棟の設備が専門的で、自傷・他害対応室やファミリールームなどの詳細な説明があり、非常に興味深かった
- 子どもに近い立場で、一緒に寄り添いながら走っているような職員の方々の雰囲気を感じ、施設に対する印象が良い意味で変わった

【全体・バス移動について】

- 1日では児童相談所と児童養護施設の両方を見学できる機会は滅多にないので、非常に貴重な経験となった
- バス移動が快適で、移動中に質疑応答ができたり職員の方から詳しい話を聞けたりした点が良かった
- スタッフの方が常に帯同してくださり、質問しやすい流れを作ってくれたおかげで、解像度を深めてから見学することができた
- 実際に働いている方から、普段は聞けないような詳しい内容や現場の想いをお伺いすることができ、非常に充実していた